



アンコンシャス・バイアス（性別による無意識の思い込み）

性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）とは自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため「無意識の偏見」と呼ばれます。

☑男性は仕事をして家計を支えるべきだ ☑共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ

大黒柱バイアスに悩まされる男性たち

男性の働き方も多様化し、共働きが多数となり、家計を2人で支える世帯では、家事・子育てにも男性が主体的に関わる事が不可欠になり、積極的に家庭責任を果たしたいという男性も増えている。その一方、共働きの男性が育休を取りづらいつと感じるとか、家庭よりも仕事を優先する自分に罪悪感を持ちつつも残業をやめられないといった話しも耳にします。

仕事と家庭の役割を一方のみが担うやり方は限界にきていて、役割が固定されてしまうと、状況が変化したときに共倒れになりやすく、リスクが高すぎると言える。「男性は〇〇すべき・女性は〇〇であるべき」というジェンダー・バイアス、アンコンシャス・バイアスを超え、男女が双方の生きづらさを理解し合い、責任を分かち合い、協力しながら最良の選択肢を選び取っていくことが大切である。

☑女性は感情的になりやすい ☑男性は人前で泣くべきではない ☑女性には女性らしい感性があるものだ

「女らしさ、男らしさ」よりも「その人らしさ」で

人それぞれ、男性らしい部分もあれば、女性らしい部分もある。そもそも女性・男性は自分らしさを表現する1つの記号であり、性別によって生き方や行動を制限されたり、決めつけられたり、評価されたりするものではない。

アンコンシャス・バイアスはいつでも、どこでも、誰にでもあるもの。なくすことはできないが、気づくことがその対処への第一歩となる。

私が私らしく、あなたがあなたらしく生きるために、私たちの中にある、また社会の中に埋め込まれたアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に敏感になろう。

そして、気づいた人から声を出し、メッセージを発信していくことで誰もが生きやすい未来につながっていくだろう。

◎さらに詳しいチェック項目・事例集は下記のURL、二次元コードよりご覧いただけます



性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究についてはこちら

URL

https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r04.html



男女共同参画局：無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）一事例集一より抜粋

動画「一人、ひとり、輝く未来へ
～ジェンダー平等を実現しよう～」
が公開されました！

様々な立場の人達が、職場・家庭・地域・学校などにおけるジェンダーギャップに対する実体験や想いを語る内容となっています。まずは知る、気づく、私ができることから始めましょう。



【ムーブ！かごしま】

鹿児島県男女共同参画センター
だより vol.44 より抜粋

鹿児島県男女共同参画週間 7/25(火)～7/31(月)

すべての人々が人権を尊重され、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、集中的に啓発活動を行い、県民の方々に、より理解を深めていただけるようにと定められた週間です。

第3次 瀬戸内町 男女共同参画基本計画
(令和6年度～令和10年度)策定に伴い、
意識調査(アンケート)を7月末から8月に行う予定です。
皆さまのご協力をよろしくお願い致します。